

Dell EMC OpenManage Ansible Modules for PowerEdge Servers

PowerEdge サーバー インフラストラクチャの自動化を加速

概要

Dell EMC OpenManage Ansible モジュールにより、IT 部門は、RedHat Ansible を使用して重要な PowerEdge 機能の自動化とオーケストレーションを行うことができます。OpenManage Ansible モジュールは、ラック、タワー、モジュラー型の PowerEdge サーバーを構成、導入、更新します。これらは、iDRAC Redfish REST API と Dell EMC API 拡張機能を活用して行います。

インテリジェントな自動化による俊敏性の向上

今日の大規模な IT データセンターは複雑で、最大で数千台ものサーバー構成を管理しています。そのため、ワークフローを 1 つのパイプラインに統合することが重要です。自動プロビジョニングにより、適切に構成された環境に対してビジネスアプリケーションを導入できます。これにより、スケーラビリティと迅速なサービス導入を実現します。

OpenManage Ansible モジュールを使用すると、SCP（サーバー構成プロファイル）をエクスポートおよびインポートし、それらを Ansible プレイブックで使用できます。これにより迅速かつ一貫性のある導入が可能になります。人間が判読できるコードで書かれた単一の Ansible プレイブックを使用して、サーバー インフラストラクチャをプロビジョニングできます。

コードとしてのインフラストラクチャで DevOps を加速

近年では、IaC（コードとしてのインフラストラクチャ）が DevOps と共に広く採用されています。IaC は、他のソフトウェアと同様に扱うことができるソース コードを介して、コンピューティング、ネットワーク、ストレージの構成を定義します。ソフトウェア コマンドを実行するだけで、数日もかからず数秒で動的インフラストラクチャをプロビジョニングできます。これにより、コンプライアンスを遵守し一貫性のあるインフラストラクチャを確保します。OpenManage Ansible モジュールは、物理サーバーの導入のための、次のような IaC プラクティスの採用に役立ちます。

- バージョン管理
- ピア レビュー
- 自動テスト
- リリース タグ付け
- リリース プロモーション
- 継続的デリバリー
- 継続的な統合

サーバー構成プロファイルは、コードとしてインフラストラクチャのフレームワークにシームレスに統合されます。システム管理者や開発者は、SCP を使用して、バージョンの簡単な管理と PowerEdge サーバーのプロビジョニングが可能になります。これにより、サーバーの導入が簡単になり、組織の俊敏性と革新性が向上します。

PowerEdge サーバーの OpenManage Ansible モジュール

特長	説明	メリット
自動化されたゼロタッチのプロビジョニングと導入	- 最適なサーバー構成から得た SCP（サーバー構成プロファイル）を使用して PowerEdge サーバーを自動的に構成 - REST API メッセージ内のサーバー構成プロファイルのエクスポートとインポートをサポートし、ネットワーク共有の必要性を排除	- サーバーの導入に必要な IT スタッフの作業時間を削減 - 企業が承認した標準を維持し、あらゆる導入に対して一貫性を確保
エージェントレス（帯域外）BIOS とファームウェア アップデート	- DUP(Dell アップデート パッケージ) を含むカタログとファームウェア リポジトリを使用して、ネットワーク共有 (CIFS、NFS、HTTP、HTTPS) から PowerEdge サーバーの BIOS とファームウェアのアップデートを自動化 14G PowerEdge サーバー用に SCP（サーバー構成プロファイル）ベースのファームウェア アップデートをサポート	- PowerEdge サーバー上の BIOS とファームウェアのバージョンを簡単かつ自動的に最新の状態に維持 - リポジトリ ベースのファームウェア アップデート プロセスを活用して、人的ミスをなくし、ダウンタイムを最小化 - ローリング ファームウェア アップグレードによりインフラストラクチャのコンプライアンスを維持
BIOS と iDRAC の構成	- ブレイブックの単一のタスクを使用して、BIOS 属性のセット全体（起動設定、メモリー設定、プロセッサ設定、システム プロファイル、システム セキュリティなど）を構成 - ブレイブックの単一のタスクを使用して、iDRAC 属性のセット全体（ユーザー、サービス、タイムゾーンと NTP の設定、アラート設定など）を構成	- 迅速な構築によるタイムトゥバリューの短縮で、ダウンタイムを短縮し、生産性を向上 - バージョン管理されたブレイブックと変数により一貫性のある構成を毎回実現
OS の導入	PowerEdge サーバーに最適なオペレーティング システムを導入するための、iDRAC でサポートされている柔軟な導入オプション（ネットワーク ISO からのブート、PXE ブート、UEFI HTTP ブートなど）	- IT プロセスに沿った迅速で簡単な OS 導入 - アプリケーション スタックの導入に使用したものと同じブレイブック内で、DevOps からインフラストラクチャの物理的なプロビジョニングと導入が可能
ストレージ構成	- ストレージ コントローラーに関連付けられているすべての RAID ボリュームを表示 - 何度も再起動することなく、ブレイブック内の単一のタスクを使用して複数の RAID と仮想ドライブのボリュームを構成	PowerEdge サーバーのストレージ構成を自動化するために複数のツールに依存しない
詳細レベルのコンポーネントインベントリ	iDRAC と BIOS ファームウェアのバージョン、サービス タグ、CPU、メモリー、I/O、コントローラー、ストレージ ボリュームなど、サーバーに関する総合的なコンポーネントレベルの豊富なインベントリ情報	手動の操作を減らして生産性を向上させ、複雑なワークフローのためのブレイブックの開発を加速

詳細については、[Dell.com/en-us/work/learn/openmanage-integration-and-connections](https://dell.com/en-us/work/learn/openmanage-integration-and-connections) をご覧ください。



Dell EMC OpenManage
Enterprise Modular Edition
に関する[詳細情報](#)



Dell EMC エキスパートに
[問い合わせる](#)



[他のリソースを表示](#)

